



# 仲良く一緒に田植え

～全校田植えより～

令和5年6月5日(月)



発行所  
常磐南小学校  
電話 46-2005  
FAX 46-2048  
— 第36号 —  
2023.6.23

## 鳥居強右衛門が走った道

校長 林 幸康

六月四日放送のNHK大河ドラマ「どうする家康」に、鳥居強右衛門の活躍が描かれていました。私が認識していた強右衛門の人物像とは少し違う描かれ方をしていましたが、とにかく強右衛門は、絶体絶命の長篠城を救うため、武田の包囲網を突破して、岡崎城の家康のもとへと激走していました。

強右衛門が走ったとされるおよそ片道六十五キロメートルの道のりのうち、岡崎市内の十キロメートルほどは『道根往還』と呼ばれ、今なお歩く（走る）ことができます。五月の初めに学区を探索している際に、岡崎霊園近くで、この『道根往還』の看板を見つけたときは、「これは何？」と思う程度でした。その後、何度もこの看板に出会うにつれて気になり出し、いろいろ調べてみると、強右衛門が走った道であることが分かり、がぜん興味がわきました。岩中地区でも、『道根往還』の看板を見つけた頃は、折しも「どうする家康」で、長篠の戦が迫っており、集会の話のネタにさせていただきました。

集会での子ども達の反応は、思った以上で、地域の歴史への興味の高さを感じました。これも調べて分かったことですが、数年前には、六年生が『道根往還』について授業で取り上げていたようです。さらに、地域の福寿会が、定期的に清掃活動をしているということも分かりました。常磐南学区を通る『道根往還』は、知る人ぞ知る地域の宝物だったんだと気付かされました。

今「どうする家康」効果もあり、岡崎への注目度も、子ども達の歴史への興味もとても高くなっています。地域に残る旧跡である鳥居強右衛門が走った『道根往還』を、子ども達と共に、これからも地域の宝として大切にしていきたいと思えます。

# 常磐南小学校 運動会

## 『心を一つに 全力を尽くせ ときなんっ子』

えがおでおどろたよ

一年

はじめてのうんどうかいで、「じゃんぼりみつきー」をおどりました。じょうずになりたくて、いえでもいっばいれんしゅうしました。ほんばんのまえはどきどきしたけれど、かぞくのまえでさいこうのダンスができました。えがおでおどっていたら、みているひとまたのしそうでうれしかったです。



【1・2年:うえるかむ! ときなんランドで Ho!Ho!Ho!】

たのしかったうんどうかい

二年

わたしは、ぼうしとりが一ばんたのしみでした。れんしゅうのときは、まいかいぼうしをとられていたけれど、本番ではとられなかったからうれしかったです。ジャンボリミツキーのダンスは、えがおでおどるこ

とができました。みんなでおどることができてよかったです。今年のうんどうかいは、さいしよ、どきどきしたけれど、たのしかったです。



【1・2年:徒競走】

楽しい運動会

三年



【3~6年:常南リレー】

私は、バトンパスのれん習をがんばりました。本番は、しゅんさくくんバトンをわたすことがうまくでき、リレーで一番になりました。四年生でもチームで一番を目指したいです。ぼうしとりでは、ぼうしをとられてしまい、くやしかったです。次こそは、生きのこりたいです。「一天とかい」はきれいに見せることができ、お客さんによるこんでもらえたと思います。来年もいろいろなしゅもくを力いっぱいがんばりたいです。

楽しかったダンス

四年

運動会ががんばったことの一つは、「一天とうかい」と「ライジング」のダンスです。学校でもたくさん練習をしたし、家でも自主練習をがんばりました。ぼくが、「一天とうかい」で気をつけたことは手の動きです。まちがえずにビシッと決められるように練習したので、本番は自信をもっておどることができました。来年もがんばります。

本気の御神楽

五年



【3・4年:咲き誇れ! 57人の舞】

運動会で一番ががんばったのは御神楽です。最初は、扇子の持ち方すら分かりませんでした。でも、練習をしたら持てるようになりました。新しい技もどんどん出てきて、難しくなりました。中でも「足出し」が一番難しかったです。やろうかどうか迷ったけれど、勇気を出してやることに決めました。練習では何回も扇子を落

としましたが、本番ではうまくいったのでうれしかったです。「足出し」に挑戦して良かったと思えました。

思い出になった御神楽

六年

運動会で思い出に残っていることは御神楽です。練習を始めたころは、扇を回すことが全然できなくて、悔しくて何回も涙が出てきました。そんなとき、周りの友達が励ましてくれたり、扇の回し方を優しく教えてくれました。とてもうれしくなりました。本番では、ぼくはこれまでで一番上手に御神楽ができました。小学校生活最後の運動会は、みんなががんばってきたものが成功できてよかったです。



【二人三脚:心を合わせて1・2、1・2】



【5・6年:御神楽】

## 全校田植え

またやりたいな

一年

わたしは、はじめてたうえをしました。たんぼにはいると、どろにあしがはまってたいへんだったけれど、たのしかったです。ろくねんせいのであといっしょにたうえをしました。うえかたをおしえてくれてやさしいなどおもいました。また、たうえをしたくなりしました。



【1年生:初めての田植え】

おいしくなあれ

二年

ぼくは、田うえをしました。田うえのどろ水はどろどろしていました。いねは、十八本くらいうえました。いねは、きれいなみどり色でざらざらしていました。どろ水は、あさかったです。田んぼの中に入っていると、だんだんあたたかくなってきました。自分たちがうえたいねがおいしいお米になってほしいです。



【真剣に田植えをする子どもたち】

うまく育つといいな

三年

三回目の田植えも、とても楽しかったです。いねを植えるときに、足がどろにはまって、動くのが大へんでした。細かく足ぶみをしながら立っている、深くしずまないことに気づきました。大切に植えたいねをふまないようにすき間を歩くとき、バランスをとることがむずかしかったです。大へんだったので、おいしいお米になってほしいなと思います。今からとろろごはんが楽しみです。

協力してやった田植え

五年

ぼくは田植えを楽しみに待っていました。今年二年生とペアで苗を植えました。最初は上手にできるか心配だったけれど、ペアの子に植える方をアドバイスしながらやっていたら、だんだん上手に植えることができました。一回カエルをふんでしまったけれど、田んぼの水は冷たくて気持ち

ちよかったです。十一月の稲刈りもしつかりできるようにがんばりたいです。



【地域講師の皆さんと田植えをする子どもたち】

一年生と一緒に行った田植え

六年

一年生の子は初めての田植えだったので、教えるのがとても難しかったです。でも、ペアの子はとても楽しそうに田植えをしていたので良かったです。最初に植えた苗よりも、だんだんうまく植えられるようになってきたのです。いいと思いました。

ときなんつ子みんな田植えができました。小学校生活最後の田植えは、これまで一番楽しかったです。田んぼの準備や田植えの仕方を丁寧に教えてくださった地域の方に感謝の気持ちでいっぱいです。

## 研究授業『学び合い』

六月二日に、都留文科大学特任教授の三崎隆先生を招聘し、四年生の子どもたちに『学び合い』で算数の授業をしていただきました。

三崎先生との算数の授業

四年

七か月ぶり二回目の三崎先生の授業でした。

前回は国語の勉強をしましたが、今回は算数でした。私は、少し算数がとくいなので、わからない子をさがして教えてあげたり、みんなと楽しく説明し合ったりしました。「全員がわかる」という目当てはたつせいできませんでした。また、三崎先生との三回目の『学び合い』を楽しくやりたいなと思いました。



【『学び合い』に取り組む4年生】

## 学区社教活動に向けて

### 社教委員長



昨年の十一月のことですが、前任の深田さんが残念なことに病のため亡くなられたため、南学区総代会による後任者の選出会議を経て、令和五年度四月より、南学区社教委員長を務めることになりました。委員長職は、各種団体のまとめ役という重責が故に、この役職が務まるか不安を抱えながら、日々過ごしている状況です。今後、事業計画に基づき、小学校の校長、教頭先生と各町総代のご協力ならびに、学区民の方々のご理解を得ながら活動していくことができればと思いますので、ご支援よろしく願います。

ところで、今思えば振り返ること四十数年前。縁あって青年会という組織に加入した時から南学区社教活動に一步踏み込んだのかもしれない。その後、消防団、PTA、交通指導員、総代会長、民生委員というようにいくつかの組織を経験させていただきました。その時々、いろいろな大変なことが、つらいことが、楽しいことがありました。しかし、いつの時も周囲の皆さんの協力が何よりの力となっていたと思います。今後、自分が社教委員長としてなすべきことは、ゆつくり時間をかけ

て考えていきたいと思えます。特に、各種団体の代表者の皆さんと社教関連行事を進めて行く中で、学区民同士のふれあい事業ならびにコミュニケーション活動を活性化していくことが、コロナウイルス感染症拡大も落ち着いてきたタイミングでもあり、これからの大切な取り組みだと思っております。コロナ禍で実施することができなかった例年の恒例行事が、どこまで再開できるかは不透明ですが、皆さんの建設的な意見もいただきながら、検討していきたいと思っております。よろしく願います。

#### 【今後の予定】

- 8月12日 夏祭りの夕べ
- 8月18日 社教役員・常任委員会③
- 9月16日 学区敬老会
- 9月29日 社教役員・常任委員会④
- 10月29日 家族ふれあいハイキング
- 12月3日 ふれあいボウリング大会
- 2月2日 年度末社教役員会

## 学校評議員紹介

### ◆評議員会代表

### ◆総代会長

### ◆社教委員長

### ◆PTA会長

### ◆民生委員

様 様 様 様 様

## 常南の心

### 最善解を導く力

#### 養護教諭

二〇一五年一二月「AIの導入によって日本の労働人口の四九%の仕事が十二十年以内になくなる」というレポートが、野村総研とオックスフォード大学の共同研究によって発表されたことを、ご記憶の方も多いと思います。私にも、子どもが三人おりますので、この記事には衝撃を受けました。自分が、これまで当たり前だと信じていた価値観で子どもたちに接して、果たして我が子は、社会人として自立できるのだろうか。大きな疑問を感じながら、答えを見つけることはできず、数年が経過。そして、先月こんなニュースを目にしました。「日本のIT企業の代表格である会社が、今話題のAI、ChatGPTを活用し三十人いたディレクターを0にした」というニュースです。IT企業のディレクターというのは高度な専門性をもつスペシャリストだそうです。決して誰にでもできる仕事をしていただけではないはずですが、そんな高度な人材であってもChatGPTに仕事を代わられてしまう、そんな状況がもう目前にきています。将来への不安や恐怖に、立ち止まっています。しかたありません。これからの子どもたちはAI時代を生きていきます。そこで重要なことは、人間にしかできないことを改めて考えてみることもなかむもしれません。明らかな正解を求めめるのではなく、その時その時で、最善解を導く力。そう、ときなんナナメの教室で行われている、答えのない問題を考える授業。ここに、子どもたちが、これからの未来を切り開いていく力の答えがあると、私は考えます。ときなんつ子は、素晴らしい地域の皆様に育まれています。とても幸せですね。

31	30	29	21	15~9	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
木	水	火	月	火~水	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土
弁当持ち	3時間授業 一斉下校	2学期始業式	親子環境美化活動	全校出校日	夏休み	1学期終業式 一斉下校	給食終了 通学班会	大掃除 5時間授業	海の日		読み聞かせ					児童集会 クラブ	予備日	PTA資源回収			1学期保護者会	力いっぱい検定	月曜集会 委員会		市制記念日

